

## 学校給食用牛乳におけるストローレスの取組について

市では、プラスチックの削減や2050年CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出実質ゼロを目指すゼロカーボンシティの表明など、環境への負荷を少なくするための取組を行っております。このことを受け、学校給食においても紙ストローやバイオマスストローを使用せず、ストローレスへ移行することといたしました。このことは、児童・生徒に環境問題を身近なものとして捉え、環境保全に対する意識を高めてもらうことにつながると考えます。

なお、新しい牛乳パックは、小学校低学年の児童にも開けやすく、飲み口の毛羽立ちの少ない紙パックになっておりますが、対応が難しい児童・生徒には引き続きストローを提供するなどの配慮をいたします。

令和5年4月

府中市教育委員会